

1. 評価結果概要表

平成 21年 3月 18日

【評価実施概要】

事業所番号	2073500064
法人名	有限会社ふるさと
事業所名	斑尾の森グループホームふるさと
所在地	長野県中野市大字穴田794番地1 (電話) 0269-38-2565

評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成21年3月11日	評価確定日	平成21年4月22日

【情報提供票より】(21年 1月 30日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 3月 30日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9人
職員数	8人 常勤5人 非常勤3人 常勤換算5.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	2階建ての 1・2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000~24,000円	その他の経費(月額)	22,100円	
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 900円			

(4) 利用者の概要 (1月 30日 現在)

利用者人数	9名	男性	名	女性	9名
要介護1	1名	要介護2		1名	
要介護3	3名	要介護4		2名	
要介護5		要支援2		2名	
年齢	平均 83歳	最低	71歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ながさき医院・丸谷医院・岸歯科医院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

上信越自動車道の豊田飯山ICから車で5分ほど、飯綱町との境に位置する山間の里山、豊田穴田地区に古民家を改修し、山・川・田畑・民家と日本の原風景である懐かしい故郷が展開している場所にグループホームふるさとはある。家庭的で、自立した、その人らしい日常生活を支援することを理念とし、四季折々変化していく風景と共に穏やかに、ゆったりと流れていく時の中で、支えたり、支えられたりしながら利用者職員で作り出している暮らしの匂いがした。事業所のことを熟知している協力医の支援を得て、終末期の対応をするなど事業所としての新たな試みにも挑戦し、さらなる力を身につけようと取り組んでいる。里山ゆえの災害(山崩れ等)も想定され、地域住民との協調が必須であり、運営推進会議等を通じて関係作りに努力している。懐かしい風や匂いのする里山の中で温かい見守りの眼差しを向ける職員に囲まれて、「認知症になっても安心して暮らしていける所がある。」と言う声が聞こえてくるような雰囲気があった。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	改善課題の4項目については積極的に取り組み、介護計画の毎月の見直しは実施され、防災訓練は年1回実現できたが最低でも年2回は定期的実施することが望まれる。理念の見直しと終末期の対応指針作りが検討中であることを伺った。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価は全職員で取り組み、その意義についても理解し、共有化が図られていた。職員の自己評価の取り組みや自己評価票の取りまとめ方法について業務との関連で困難も多いが検討することが望まれる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	年4回開催し、事業所の現状や評価結果が報告され、意見交換が行われている。構成委員に地域を動かすことの出来る地域の代表者が参加することにより、地域とのつながりや地域の防災等への協力を得やすくなるので委員に区長等を加えることを求めます。さらに地域にとって必要な事業所になるために、認知症等の相談窓口等の地域貢献も、運営推進会議を積極的に活用して協力を仰ぐことも一考かと思われる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	月1回はご家族の面会があり、ゆっくりと話の出来る雰囲気作りをしながら、ご家族の思いや意見を聴くように取り組んでいる。家族会は、ご家族同士のつながりを深めたり、同じ思いを持つご家族として思いや意見を言いやすくなるので、家族会の結成が望ましい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地区の自治会に加入し、回覧板が来たり、地域の寄り合いや祭りにも参加し、隣近所の住民と気軽に声を掛け合ったり、事業所に立ち寄ってもらうなどの親しい付き合いが出来ている。野菜等のおすそ分けもあり、参加は少ないが、事業所の行事への招待もしている。保育園や小学校が遠方であり、子供たちとの交流は難しい現状であるが、地域のPTAなどに働きかけるなどの工夫が求められる。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な雰囲気、自立支援、その人らしい生活を支えていくことを理念とし、玄関入り口の壁に掲げてあった。		「生活」や「暮らし」とは、地域と相互に支えたり支えられたりするつながりを切り離しては存在しないので、理念の中に地域との関係性を盛り込み、事業所が目指すサービスのあり方の根本を明確に表現していくことを期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月1回の職員会議や職員同士の話し合いの中で理念について話題とし、共有化を図ると共に実践に向けて取り組んでいる。「地域密着型」に移行したことに伴い事業所に求められているサービスの改正点についての話し合いを深めていくことが望ましい。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の自治会に加入し、回覧板、地区の寄り合いや祭り等に参加し隣近所の人と気軽に声を掛け合ったり事業所に立ち寄ってもらうなどの親しいつきあいが出来ている。野菜等のおすそ分けもあったり、参加は少ないが事業所の行事への招待もしている。子供たちとの交流は利用者の楽しみのひとつになるので地域のPTAへの働きかけが求められる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価は全職員で取り組み、その意義についても理解し共有化が図られている。改善点については具体的改善に向けて取り組みをしているが、実現に至らない項目もある。自己評価への取り組みや評価票の取りまとめの方法について検討されることが望まれる。		

斑尾の森グループホームふるさと

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>年4回開催し、事業所の現状や評価結果等が報告され、意見交換が行われている。活発な意見交換というより行事や介護状況の報告や防災協力依頼等が主となっている。</p>		<p>地域からの協力を得るには、地域を動かせる立場の人を構成委員に加えることが大切である。区長等の力を借りて地域の理解を得ながら課題解決を図ると共に、事業所が地域住民にとって必要な存在になるための地域貢献(認知症等の相談窓口など)に積極的に取組まれることを期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者とは情報交換し、3か月に1度は介護相談員も訪れ、包括支援センターとも連携が出来ていて各種の問題点への改善のための協議を行っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に1度はご家族の面会があり、その折に暮らしぶりや健康状態、金銭出納状況について報告している。金銭出納簿のご家族の確認も的確に行われていた。以前は発行していたたよりを、定期的に発行し、暮らしぶりのコメントなど書き加えることもご家族の安心を得る報告になると思われた。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会の折に、ゆっくりと話の出来る雰囲気作りをして、ご家族の思いや意向を聴くよう取り組んでいる。家族会のご家族の思いや意向を言える場所になったり、ご家族同士のつながりを得る機会にもなるので、家族会の結成について検討されることが望ましい。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の悩みや話を聴いて、働きやすい職場環境になるよう努力しているため、これまでに職員の異動は少ない。異動があった場合は事業所内の雰囲気が変わらないよう配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護等で悩んでいることを職員に聞き、テーマを決めて行う全職員参加の月1回の勉強会や日々のトレーニング用に参考資料を配布するなど、職員の資質向上に取り組んでいる。外部研修は1人年1回は参加し、研修報告書は全職員が何時でも閲覧できるようになっていた。月1回行われる中野市医療・保健・福祉事例検討会にも参加し、幅広い知識の吸収をしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	中野市グループホーム連絡会に加入し、勉強会や相互訪問を行っていたが、20年度は活動が休止している。早期に活動を再開するよう働きかけて日々のサービスや職員育成に役立つ実践的な試みを行うことが望ましい。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事業所に泊りの体験をしていただき、雰囲気を感じ職員や利用者に徐々に馴染みながら安心して納得しながらサービスを利用できるように努めている。3泊の経験をしたが、利用者本人が納得できず、利用を中止した事例もあることを伺い、利用者本位の姿勢を貫いていることが感じられた。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昔の話、言い伝え、ことわざの意味、料理の仕方や工夫、編み物、やしょうま作りなど利用者が主役となれることを導き出し、職員が教わりながら一緒に行うなど、共に過ごし、支え、支えられる関係になるよう取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>3か月に1度訪れる介護相談員から利用者の思いを聴いたり、日々の会話やつぶやき、行動から利用者の思いや意向について関心を払い、把握しようと努めている。時には職員から声掛けをして利用者の思いを引き出すこともしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者やご家族の思いや要望を聴き、職員からの意見を取り入れてケアマネージャーが介護計画を作成し、職員への共有化も図られていた。介護計画はご家族に説明し了解を取っているが、十分な話し合いが行われていないケースも見受けられた。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の設定期間毎の見直しは行われ、心身の状況の変化、職員からの意見や記録等により状況に応じての臨機応変の見直しも行われていた。月1回の全利用者の介護計画の見直し検討も行われているが、ご家族や職員からの意見や要望の取り入れに若干のズレが生じているケースも見受けられた。利用者、ご家族、職員の十分な理解の下に介護実践が行われることが望ましい。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>看護師を職員として配置した医療連携体制があり、買い物、通院への付き添い、早期退院に向けて常に連絡を取り合うなど事業所の多機能性を活かした支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者やご家族の了解を得て、事業所の協力医療機関をかかりつけ医とし、月1回の往診を受け、利用者の行動、様子、疾病の相談を行っている。専門医は引き続きの医療機関とし、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期のあり方についてはケースに応じて利用者、ご家族、かかりつけ医、事業所と十分に話し合い、利用者にとって何が一番よいのかを相談して支援している。現在終末期の支援をしているが、重度化や終末期への事業所としての基本的な対応指針は作成されていない。</p>		<p>ご家族や利用を希望する方も、重度化や終末期に対して事業所が何処まで対応するのは大きな関心事である。事業所として出来ること出来ないことを全職員で精査して、納得できる対応指針を作成すると共に関係者へ充分説明することが望ましい。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる言動に日々気を付けると共に契約書にも守秘義務の条文を設け、利用者の尊厳を傷つけないよう取り組んでいる。記録についてもプライバシーの確保の徹底に努めている。日々の言動のチェックを介護相談員などの第三者に行ってもらうことも一考かと思われる。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の思いを優先し、本人のリズムで過ごせるよう支援している。職員から「今日何をしようか」と声掛けし、返答がない場合は、レクリエーションの提案をすることもあるが強制することはなく、一人ひとりの思いに委ねている。一日何もしないで四季の彩りが見られる里山の風景を眺めていることも、この事業所であるから出来る暮らしのひとつであると感じられた。</p>		

斑尾の森グループホームふるさと

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に調理、盛り付け、片付けを行い楽しみながら食事が出来るよう支援している。食材は主として生協より取り寄せているが、畑で取れた物や地域からのおすそ分けの野菜も取り入れている。食事は調理担当職員1名が中心となって行い、安定した食事が提供されている。ご家族の協力を得て外食することもある。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回、火・金曜日の午前中に入浴を行っている。夏季は希望により夕方に入浴できよう支援されている。浴室は明るく、ユニットバスになっており、ゆっくり楽しみながら入浴が出来るようになっていた。1日3～4人を限度にして希望に応じ、個別に合った入浴支援が可能か検討することが望まれる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者一人ひとりの得意な事や力量を把握しており、それらが場面場面で充分発揮できるよう支援している。冬期間は廊下や広い縁側を活用した室内散歩も運動不足解消や気晴らしの支援になると思われた。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的には、車の通行量もほとんどない事業所周辺の散歩を行い、近隣住民と気軽に声を掛け合ったり、野菜のおすそ分けを頂いたり、四季折々に変化する里山の風景を眺め、外出を楽しんでいる。重度者には車椅子での散歩や日向ぼっこをし、季節の移ろいを肌で感じてもらっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵を掛けず、自由に出入りできるようにしている。見守りの難しいところは鈴を付けるなどの工夫をしている。利用者の様子や所在にはプライバシーを保ちつつ安全への配慮もしている。		

斑尾の森グループホームふるさと

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>事業所内での防災訓練(避難誘導・消火器の取り扱い)は1回、消防署の火災についての講話を1回行った。スプリンクラー等の消防設備は21年度を目処に設置する計画である。</p>		<p>年2回の防災訓練(夜間想定を含む)や地域住民の協力を得ての訓練(あるいは協力についての話し合い)を実施することが望ましい。特に夜間は夜勤者1名で9名の利用者の命を守ることになるので不安も大きい。不安を抱えて介護することを解消するためにも近隣の方の協力を得ることを期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量や水分量は毎日記録し確認している。栄養バランスについては知り合いの栄養士から助言を頂いている。定期的な献立への助言は運営推進会議を通じて、市の栄養士の協力を仰ぐことが望ましい。</p>		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂と台所は繋がっており、調理の音や匂いを感じられる。玄関には四季折々の花や植木が飾られ、食堂の窓からは懐かしい里山の風景が眺められ、ゆったりした気持ちで食事が楽しめるようになっていた。広い量の居室を昼間は居間風に活用し、あたたかも自分の部屋に大勢の人が遊びに来たような、隣の家に訪問しているような雰囲気使われていた。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室はベッドやタンスを始め全てが利用者の持ち込んだ物であり、馴れ親しんだ物に囲まれての暮らしの空間になっていた。神棚、写真、飾り物等、その人ならではの部屋になっており、さながら自宅にいる雰囲気であった。窓からは里山の風景が眺められ、のんびりと居心地よく過ごせるようになっていた。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。